

# みなみさんりく 議会だより



No. 75

令和6年11月1日発行

## 特集

令和5年度決算  
全会計原案どおり認定 <sup>P2</sup>

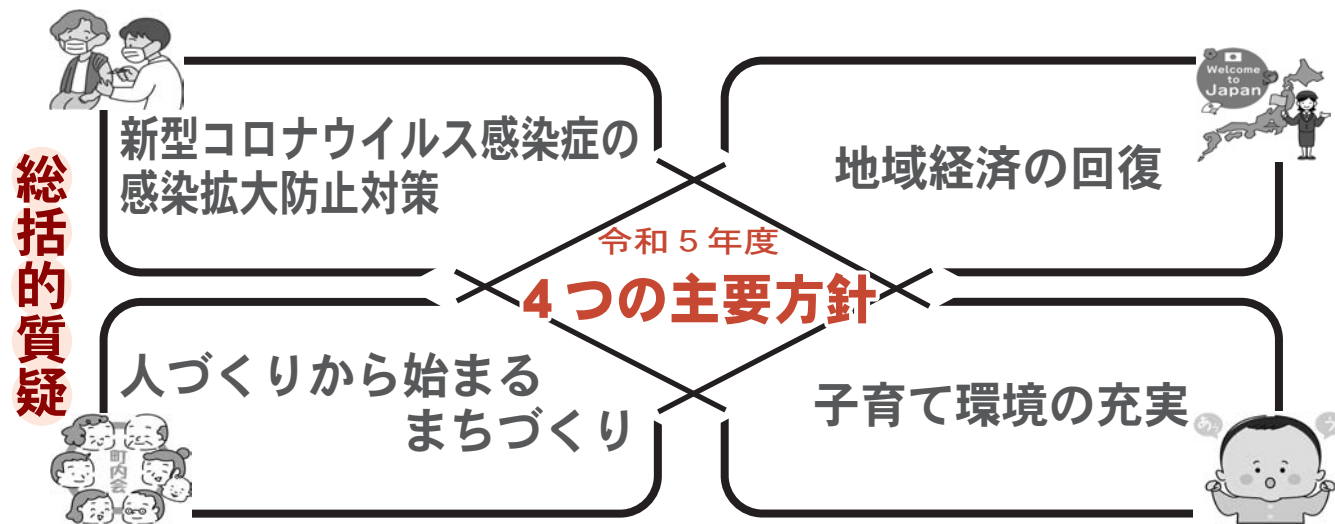


### 《表紙》

9月中旬、町内の稲刈りのようす。  
順調な生育に合わせ、早めの収穫。  
天の恵みに感謝！

ここが聞きたい！8人登壇	———	〈一般質問〉P 7
防犯カメラ条例、後追い制定	———	〈議案審議〉P16
せせらぎ公園撤去に680万円	———	〈補正予算〉P17
9月定例会議	———	〈議案一覧〉P18
請願・陳情	———	P18
まちづくりへの提言	———	〈委員会報告〉P19





**Q. コロナ感染症拡大から見た教訓は**

**A. 一番大事なことは、確かな情報をいかに伝達するかという事だ。**

**問** 災害と同様に、今後も繰り返す起りうる。どう伝えていくのか。

**答** 東日本大震災と同様、当時は大混乱だった。冷静な対応が大事であることを共有していく。

**問** 南三陸病院経営の健全化と安定した医療の充実。

**答** 病院の経営において大事なことは、医師の確保である。現院長を中心に20数名の研修医や職員スタッフを揃えている。町民のみなさんに医療の提供が滞らないよう努めたい。

**問** 病院経営強化プランでは、令和10年度の黒字化を目指すとのことだが、外的要因が絡むこともあり、目標にはなかなか至らない。

**問** 町民のみなさまに積極的に支え、利用してもらうためにメッセージを。

**答** 台湾のみなさんの温かい支援による病院再建から10年になる。医療が崩壊してしまったあの苦しさを思えば、感謝の思いを持ち続けていく事が大切だ。もう一度改めて町民のみなさんの念頭に置いていただきたい。



**Q. 子育て環境が大きく前進した1年であったと言えるか**

**A. お母さん方の思いを受け止め政策に反映していく。**

**問** 子育て施策の財源を紐解けば、国の予算の付き具合に左右される。継続的に支えられるか。

**答** もとより、予算ありきと思っではない。しゃべり場の提供から伺える課題や要望を政策に反映することが一番大事な事だと思っている。財政措置が必要であれば整えていく。

**問** 経済的な支援以外のソフト事業も望まれているが。

**答** いろいろなご意見はあるが、しっかりと向き合いながら子育てしやすい環境を提供していきたい。

**問** どこに行つて誰に相談すればいいのかを明確にする必要がある。7年度事業で子ども家庭センターを設置予定だが、しっかりと進めて頂きたい。

**答** これまでも行政窓口への疑問の声はあった。現状では、各担当課に要望等を頂きたい。



決算審査特別委員会での詳しい質疑は、次ページから！

令和5年度  
**決算**

**全会計原案どおり認定**

**特集**

4日間で176の質疑、反対討論はなし

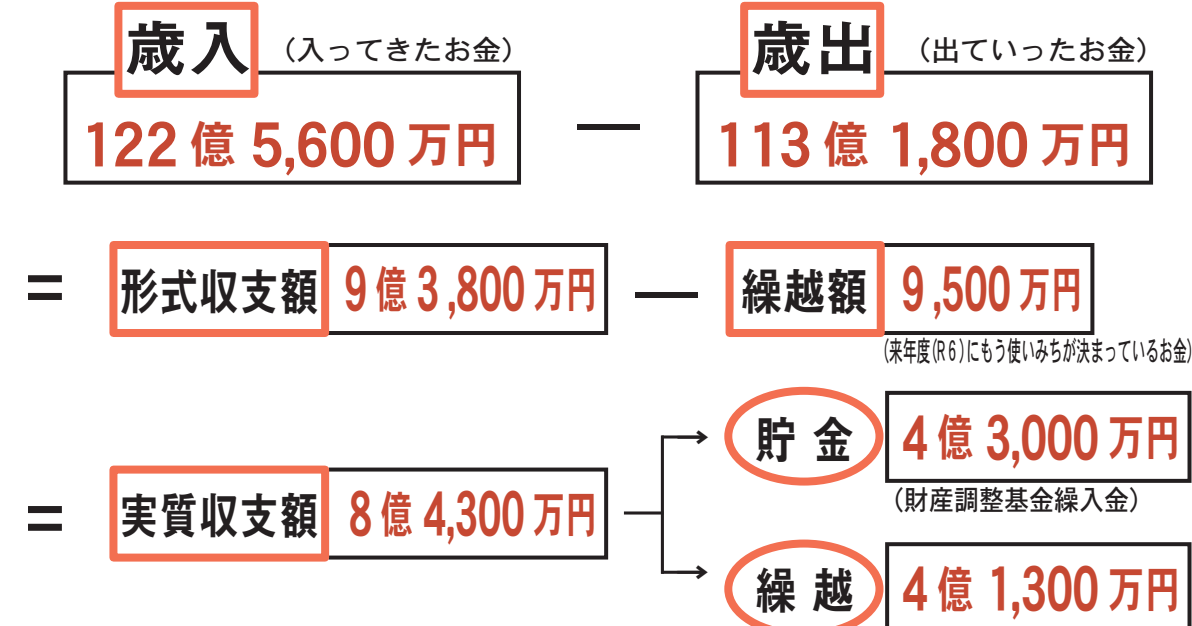
令和6年9月定例会議は、9月3日から12日まで開催されました。

一般質問（P7～）は8人が登壇し、さまざまな視点から町長や教育長に対し論戦を展開しました。議案審議では、条例改正（P16）や補正予算（P17）32件についての質疑が行われ、それぞれ主な審議状況をお知らせし

ています。

また、令和5年度決算審査特別委員会（後藤伸太郎委員長）を設置し、一般会計・特別会計の予算執行のあり方や効果について、町民のみなさんの税金の使い道を徹底審議しました。その結果、全ての会計において原案どおり認定されました。

一般会計のお金の動き



特別会計	国民健康保険	歳入	20億6,500万円	後期高齢者医療	歳入	1億6,700万円
		歳出	19億 900万円		歳出	1億6,600万円
	介護保険	歳入	17億 500万円	市場事業	歳入	7,400万円
		歳出	16億3,200万円		歳出	6,900万円
企業会計	水道事業	収益の収入	6億4,800万円	資本の収入	1億6,900万円	
		収益の支出	6億3,800万円	資本の支出	3億8,600万円	
	下水道事業	収益の収入	9,600万円	資本の収入	1億 800万円	
		収益の支出	1億1,400万円	資本の支出	9,100万円	
	病院事業	収益の収入	18億1,300万円	資本の収入	2億円	
		収益の支出	18億3,300万円	資本の支出	2億円	
	訪問看護 ステーション事業	収益の収入	4,700万円	※金額は十万円以下切り捨て。		
		収益の支出	4,200万円			



# 予算はどう使われたのか

## 一般会計

災害援護資金の償還計画には応相談を（諸収入）

## 歳入

**滞納による差し押さえの実態は〈町税〉**

**問**（伊藤俊委員）滞納繰り越し分の収納率が低い。財産差し押さえの現状は。

**答** 滞納処分による差し押さえは預貯金、給与等で行っている。不動産については現在行っていないが今後行う場合もある。

## 複数委員が質疑

**災害公営住宅の入居資格の拡大を図っては**  
（使用料及び手数料）

**問**（須藤清孝委員）入居資格の拡大を検討できないか。

**答** 現在入居希望者は充足されている。将来的な課題ではある。

**問**（伊藤俊委員）入居の際の保証人の要件を緩和できないか。

**答** 将来的には必要である。当面は従来どおりとする。

## 歳出

**志津川地区の回遊性を**  
（総務費）

**問**（須藤清孝委員）交流拠点地区事業効果分析調査の結果、志津川地区の回遊性にどのような変化が期待できるか。

**答** 志津川地区の観光客の回遊場所及び回遊率等を調査した。今後誘客向上を図るためデータとして活用する。



**職員のストレス状況は**  
（総務費）

**問**（菅原辰雄委員）職員のストレスチェックを実施したがストレス解消に繋がるか。

**答** ストレスチェックはマーク方式によりパソコンを使って行う。メンタルヘルスの改善に活用される。

## 健康寿命、最下位に危機感

（民生費）

**問**（高橋尚勝委員）当町の男性の健康寿命が県下最下位という報道があった。重大な問題であると考えている。この要因は何か。また解決策はあるか。

**答** 要因は明確ではない。食生活における塩分摂取過多も要因の一つと考えている。運動不足解消など生活習慣の見直しが重要である。また、健康診断を促すことで予防対策を図っているが今後も積極的に取り組んでいく。

**いきいき体操、使いやすい補助金を**  
（民生費）

**問**（今野雄紀委員）補助金の使い勝手が悪いとの声がある。飲食にも使用できないか。

**答** 介護予防の観点で交付している。茶菓子是对象外である。



**医療用ウィッグ補助、実態は**  
（衛生費）

**問**（須藤清孝委員）補助制度の概要は。

**答** 一人あたり3万円を上限に助成している。今後も継続の予定。

## 食生活の改善から健康に

（衛生費）

**問**（伊藤俊委員）食生活改善推進員の活動状況は。

**答** 南三陸の味、レシピ集が完成し配布した。台湾の学生と本町の食について意見交換した。

**アルコール依存症、相談しやすく**  
（衛生費）

**問**（及川幸子委員）家族教室の回数を増やせないか。相談者が相談しやすい方法を。

**答** アルコール依存症の家族教室は年2回実施している。要望があれば増やしたい。

**害獣の埋設場、限界では**  
（農林水産業費）

**問**（佐藤雄一委員）埋設場の衛生面、環境面での課題も見受けられる。埋設場所の変更、焼却処分への変更など検討されたか。

**答** 埋設場所は町有地である。場所の変更も検討したい。

## 複数委員が質疑

**311メモリアル、今後の展望は**  
（商工費）

**問**（佐藤雄一委員）311メモリアルの委託料の内訳と今後の運営は。

**答** 指定管理の事業計画に基づく事業費から入場料収入を差し引いた金額1,780万円を委託料としている。今後も一定程度町費負担は必要である。

**問**（伊藤俊委員）展示から有料エリアへの誘客の仕方及び語り継ぎのあり方は。

**答** 入場者10万人のうち有料が3万2千人になった。当初1割程度の有料入場者が3割強になった。語り継ぎは実体験者から次世代の語り部育成が課題である。

**問**（三浦清人委員）メモリアルの人件費のうち町からの負担分は何名か。今後事業のあり方を議論すべき。

**答** 町の負担分は正規職員5名、パートが数名である。

**みんながゲートキーパー**  
（衛生費）

**問**（伊藤俊委員）ゲートキーパーのサポート体制は。

**答** 研修会など開催しサポートしていく。多くの方々の参加を期待する。



**保育料の無償化をぜひ考えて**  
（民生費）

**問**（三浦清人委員）3月会議などで要望している。検討する考えは。

**答** 意見として受け止めた。検討の前段階という位置付けになる。

## 複数委員が質疑

**ブルーカーボンの今後は**  
（農林水産業費）

**問**（須藤清孝委員）ブルーカーボンの取り組みの現状は。

**答** カキ養殖イカダに付着した海藻類による炭素吸収量を5トン、売り上げは1トン当たり1万円〜5万円である。現在申請中である。

**問**（伊藤俊委員）ブルーカーボンの全町的拡大を考えているか。

**答** 町、漁協等で構成するブルーカーボン協議会で検討される。

**※ブルーカーボンとは、大気中の二酸化炭素（CO2）が海洋生態系に吸収され、長期間にわたって海洋内に貯留される炭素のこと。**





特別会計

町外への利用流出があるが  
〈介護保険〉

**公営住宅の合鍵管理の状況は**  
〈土木費〉

**問**（伊藤俊委員）合鍵管理制度の運用状況は。

**答** 全8団地738戸のうち制度利用が100戸。鍵の預け先の届出がほとんどである。

**消防水利の不足する地域は**  
〈消防費〉

**問**（菅原辰雄委員）消防水利の不足する地域調査の結果と対応は。

**答** 希薄地域抽出業務により令和6年度、大沢地区、樋の口地区に防火水槽を整備する。

**G7、子どもサミットの発信を**  
〈教育費〉

**問**（須藤清孝委員）G7子どもサミットの成果は。

**答** 各校から持ち寄った意見を集約し、児童生徒自らが行きたくなる学校づくりの目標を決議し、制定した。

**焦点はここ** 平成の森の芝枯れ、由々しき事態  
〈教育費〉

**問**（須藤清孝委員）昨年の猛暑が原因と考えるが芝管理が適正であったか。

**答** 管理不足の点も確認した。今秋に播種等による芝の修復作業を行う。来年度には利用可能と考えている。



まだ不安の残るグラウンド状況

**コミュニティ活動の充実を**  
〈教育費〉

**問**（今野雄紀委員）志津川公民館におけるコミュニティ活動の状況は。

**答** 行政区長とコミュニティ活動について話し合いを持っている。ジュニアリーダーの育成に努めている。

**検診の受診率上昇を**  
〈国民健康保険〉

**問**（伊藤俊委員）特定検診の受診率が低い（約47％）ことをどのように捉えているか。

**答** コロナの影響で受診控えも。受診率向上支援事業も活用したが、思ったほど数字が上がらなかった。

**市場の整備や車輛の修繕は**  
〈市場事業〉

**問**（須藤清孝委員）市場内の車輛や設備に突発的な故障など発生した場合の対応は。

**答** 修繕費を予め計上しているが、予備費を活用する場合もある。

**問**（佐藤雄一委員）介護予防生活支援サービスの利用希望者が町外に流出している。事業所等の誘致も考えられないか。

**小児科患者の増に対応できるか**  
〈病院事業〉

**答** 民間事業者が多く、簡単ではない。できる限り利用者、家族の相談には対応していく。

**資格を取得した職員への待遇は**  
〈病院事業〉

**問**（三浦清人委員）資格等を取得した職員への待遇について配慮があるか。

**答** 現在のところはない。スキルを十分に発揮できる体制づくりを今後も心掛けていく。



**問**（伊藤俊委員）小児科の患者が増加しているが、診療体制や現場の対応は大丈夫か。

**答** 診療時間も含め患者数に応じて対応している。また、医療ボランティアの方々のお手伝いもある。

ここが聞きたい！

# 一般質問

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

8人の議員が 14件について

行いました。

「各議員の質問内容」

1 佐藤 雄一 議員…8ページ

- ①し尿汲み取りについて
- ②旧入谷公民館の今後の取扱い
- ③公民館に自販機の設置計画は



2 阿部 司 議員…9ページ

- ①人口減における持続地帯としての考えを伺う
- ②相続登記義務化の現状について伺う



3 後藤伸太郎 議員…10ページ

- ①有害鳥獣、特にクマへの対策は



4 今野 雄紀 議員…11ページ

- ①ふるさと納税に芸術文化活動の推進を新たに用途指定を
- ②草刈りサポーター制度の導入で景観・環境美化を



5 菅原 辰雄 議員…12ページ

- ①気温上昇による一次産業などへの影響は
- ②人事評価制度の内容について両者の理解は得られたのか



6 佐藤 正明 議員…13ページ

- ①農業の耕作支援と農地活用の考えを
- ②土砂災害警戒区域の防災・減災対策は



7 伊藤 俊 議員…14ページ

- ①住民ファーストの防災施策と地域づくりについて



8 及川 幸子 議員…15ページ

- ①子供の「SOS」に早く気付くには



各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのページにQRコードを掲載しています。お手元のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生すると、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。



## し尿汲み取りについて

町長 委託予算の算定は当然行われるべき



問 現在の料金体系の根拠は。

答 町廃棄物の処理及び清掃に関する条例において規定している。

問 料金改定はいつされたのか。

答 確認できた資料によると、直近の改定としては令和元年度。

問 今後における汲み取り料金の改定の考えは。

答 いずれ改定ということについては、ある意味避けて通れない部分があるのかなと思う。

問 コロナ後のいろいろな物価高騰の中、町としてその辺のような解決策を指してこの事業をやっていくのか。

答 それに見合った形で委託予算の算定は当然

に行われるべきものと考ええる。

問 将来委託業者が事業ができなくなった場合の町の考えは。

答 住民生活安定のためには同種の業者への委託も含めて対応せざるを得ないと考えるが、しかしながら町としてはそのよう

## 施設整備

旧入谷公民館の今後の取り扱い

町長 国の財産処分にも照らし協議中

問 昭和54年度施工された多目的集会施設（林業村落センター）が使用されなくなつて4年が経過したが、その後の対応がみえてこないが。

答 アスベストの含有が確認された施設であり、公の施設として住民の利用に供することは困難であると考える。

問 築45年経過のこの建築物を解体するとすればその計画があるのか。

答 本施設の今後の取り扱いを含め、国の財産処分の手続きにも照らしながら、関係機関と協議中である。

問 建物周辺の管理状況が悪いと感じるが。

答 町として所有しているもので周辺の環境整備については当然町が責任をもつて整備していく。

他に「公民館に自販機の設置計画は」も質問を行いました。詳細は、上記QRコードからご覧ください。



4年前から使用されなくなった林業村落センター

## 環境整備

安心して生活環境を守ることが住民にとっては一番大切と考えるが。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



## 人口減における持続地帯としての考えを伺う

町長 男女の区分けなく支援する

## 人口問題

人口減少対策は男女賃金格差と産業振興の二刀流で取り組みましょう。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 近年多発している地震等の自然災害においては今後の住環境条件として影響を与えていると思うが。

答 東日本大震災の経緯から高台に団地を整備しているが中山間地としては土砂災害の警戒を考

問 人口減少問題の象徴ともいえる「消滅可能性都市」の考えは社会現象のみを捉えているが、今後は自然現象との両面で考えるべきと思うが。

答 日本全体が人口縮小社会に向かっているので人口減少対策と合わせ産業としての労働者確保も考える。

問 県の労働実態調査によると沿岸部と内陸部と

において男女間の賃金格差が指摘されているが。

答 内陸と沿岸部では企業の規模に差がある。

問 賃金格差は人口減少と連動するので国の各種支援策を活用すべきと思うが。

答 基本的には商工会等が行うものと考えている。

問 当町の女性起業支援の取り組み状況は。

答 毎年数名の方が活用しているが男女の区分けなく支援している。

## 相続登記

相続登記義務化の現状について伺う

町長 法務局と連携して周知対応を行う

問 相続登記が義務化され半年経過したが未登記の現況は。

答 土地で1271人、家屋で262人いる。

問 相談件数等での状況変化は。

答 納税通知書に同封された制度変更のパンフレットを見て窓口相談や電話確認件数は増加した。

問 未登記で今後派生する問題は。

答 死亡時等の窓口での各種手続時にも周知を図りたい。

問 高齢化社会における相続登記義務化には認知症という現実的問題があり自筆証書遺言が有効と考えるが。

答 法務局としても周知は行うと思うが行政としても相談時にはそれなりの対応を考える。



相続は早めの行動が肝心です



## 有害鳥獣、特にクマへの対策は

町長 情報収集、情報提供に努める



問 害獣による人的被害は。

答 今のところ確認されていない。

問 農作物への被害額は。

答 直近3力年の平均は340万円ほど。シカやイノシシ、カモなどの被害がある。農家の生産意欲の減退が心配。

問 対策は。

答 電気柵の設置に対して町独自で補助金を交付しており、今年度すでに15件の実績がある。国の補助もあるが、3世帯以上でのグループ化が必要。

町ではハクビシンなど小動物用の箱罠の無償貸し出しもおこなっている。また、鳥獣被害対策実施隊がシカ、イノシシを毎年計100頭以上捕獲している。

ていて、昨年度は200頭を超えた。

問 実施隊の活動状況は。

答 定数上限の15名で活動している。捕獲した際の手当でも近隣市並みの額に引き上げた。

問 クマの目撃情報が急増している。特に危険な地域などはあるか。

答 昨年度まで3年間で6件だったものが、今年はずでに15件。町内全域で目撃されている。

問 対策は。

答 クマに対しては基本、追い払うことしかできない。追い払いの研修会にも参加しており、防災無線で情報提供し、警戒を呼びかけている。

町内には山沿いを通る通学路もある。子どもたちは絶対に守らなければならないと思う。環境省がクマを指定管理鳥獣に追加したが、新たな対策を講じるべきでは。例えば、放任果樹や畑に残った作物を予算をかけて



町内のクマ目撃地点

回収しBIOに持ち込む、児童生徒全員にクマ撃退スプレーを配布するなど、は検討できないか。

問 国からおおまかな方針は示されているが、事業メニューや予算化はこれから。不安を抱く町民

も多いため、関係機関と連携を図りながら、クマの被害が多い県外地域などから情報収集して、予測の事態に備えた体制強化を進める。

## 獣害対策

抜本的対策は難しくても打てる手は打つべき。早急に対応を！

QRコードから一般質問の動画が見られます。



## ふるさと納税に芸術文化活動の推進を新たに使用指定を

町長 当該の用途から高校魅力化・野球場整備事業で活用

## 芸術と文化は

ながい眼で人づくりにタイセツなこと。金儲けばかりでは。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 先日、美術家の村上隆さんが、個人向け、企業版のふるさと納税で、合わせて7億円で文化事業を成功させたと報道された。当町の使用指定に芸術文化活動の推進を追加する考えはないか。

答 それらの分野は「地域を守り創造を育むまちづくり」に該当し、これまで4,700万円の寄贈があり、高校の魅力化事業や野球場整備事業で活用している。今後も芸術文化を含め、そのときどきの行政需要、寄附者の意向に沿うよう有効に活用していく。

問 お金もうけ、経済優先への予算措置も大切だが、お金にならない長期

的な人づくり、文化、芸術のために今後予算投入も必要ではないか。

答 第3次総合計画で持続可能なまちづくりをリーディングプロジェクトに設定しており、人材育成、人づくりを推進している。昨年度から南三陸みらい創生塾を開講し、地域のリーダーとして活躍している。予算ありきで考えるべきではない。

問 中学校では、吹奏楽部以外すべて運動部への所属だが、中高一貫の高校では、運動部93人・文化部56人という現状で、将来的に文化部を創設する必要があるのでは。

答 町民自らが、考え、できること、主体となつて行う事業や活動に対しておらほのまちづくり支援事業補助金を交付し、協働のまちづくりを推進してきた。

問 ボランティアではなく、地域の活動や草刈り

など、協働のまちづくりとして業務委託制度を導入できないか。

答 これまで毎年各行政区において自主的に地域内の除草作業を行ってもらっている。移転元地、被災地等の町有地は、今年度から会計年度任用職員2名を従事させている。

問 民業を圧迫しないよう草刈りサポーター制度を導入すべきでは。

答 考え方や手法を参考にしたい。

問 今後、草刈り条例の必要性は。

答 特段、現段階では考えていない。



芸術は心を豊かにしてくれるんだよね

### 業務委託制度

町長 町有地や町道の除草は区長と相談しながらサポーター制度なども現在検討を進めている

答 (教育長) 中学校では、域の状況で校長が判断しどんな部を設置するか決める。まりはなく、生徒数、地



## 気温上昇による一次産業などへの影響は

町長 品質低下や減収・不漁、生育不良等深刻だ



問 近年、夏の気温上昇が著しく町の基幹産業である一次産業への影響が懸念されるが、現状把握と対応策は。

〇〇 ※クーリングシェルターは、各自治体・行政区単位での共助と公助で考えましょう!!

※市町村が指定した、冷房設備を有する等の要件を満たす、誰でも休息できる施設のこと。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



答 一次産業は特に気候変動の影響を受けやすく、農産物は高温と水不足など減収と品質低下が懸念される。既に高温耐性野菜栽培や大粒葡萄栽培も始めている。水産物も海水温上昇により、昨年、今年とミズダコの不漁、ホヤの生育不良、ギンザケの出荷量減少など深刻な問題である。国は気候変動に適応する生産安定技術、品種の普及を推進。町では生産者から要望の多い高温耐性種苗の開発を県に要望し関係機関と連携し方策を検討する。

問 住民生活への影響と対応について

答 熱中症予防策として、町内の入谷・戸倉・歌津公民館、マチドマ、総合ケアセンター、生涯学習センターの6箇所にクーリングシェルターを開設。入谷・戸倉公民館に、合わせて7名が利用した。公民館以外は来場者が多く利用者の特定は難しい。

問 町が導入している人事評価制度での期末手当への反映や評価をする・される側、両者は十分な理解をしているのか。課題と対応は。

答 各公民館は住宅地から遠く担当課内でも送迎の意見もあったが、初めてでありスタートした。送迎は町内全域をカバーするものであり難しい。

問 民間の施設・スーパ―などに協力を依頼しては。

答 給与への反映・フィードバックは行っていない。令和4年にアンケートを実施。概ね理解されている。評価者によりバラツキや結果に対する不満が挙げられる。期末手当への反映には、仕組みの見直しが必要で調整を進める。フィードバックや、自己申告制を取り入れ、評価だけでなく、気づきを与え、自発的な学習を促し人材育成ツールと制度を確立させる。令和7年度施行、令和8年度の期末手当に反映させたい。



入谷地区のクーリングシェルターとして利用

## 農業の耕作支援と農地活用の考えを

町長 適正な農地の維持管理に取り組む

## 耕作支援

〇〇 低迷しつつある農作物に活力となる支援策を。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 主食である水稲栽培は、害虫、害獣被害が増加している。防除に対する支援の考えは。

答 水稲栽培ではカメムシ類による害虫被害の防除は、必要不可欠な作業と認識している。各地域の実情を勘案しながら、支援策の検討を進める。また、鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動や、農家の方の電気柵設置時は、被害防止対策の補助金事業を実施している。

問 中山間地域等直接支払制度は、農地を維持していく上では重要な事業と思う。今年度で5期対策が終了となるが、6期対策は継続になるのか。

答 正確な情報はないが、5期までの制度事業では、

問 土砂災害警戒区域等が多数指定されている。国の方針に基づき、防災・減災に対する国土強靱化計画を策定しているが、町の防災、減災の対策の方向性は。

答 防災減災対策の方向性は、ハード事業の対策は財政面を考えると、限界がある。



猛暑の中でのカメムシ防除作業

終了はないと思う。今後は早期の情報収集に取り組んでいく。

問 5期までの対策は、高齢化に配慮した取り組みやすい制度で実施されているが、緩急の差が有り過ぎる事から、6期対策の継続時には中間を設け、追加補助の考えは。

答 要望という事で受け止めたい。

問 農業振興区域の遊休農地が年々増加傾向にある。振興区域を適正に継続していく考えは。

## 土砂災害区域 町長 避難時の周知徹底し、ソフト対策の強化に努める

土砂災害警戒区域の防災・減災対策は

問 町の河川維持管理や安全確保のための昇降施設等を各所に整備する必要ある。考えは。

答 町が管理する河川は川幅が狭く、流下阻害等の原因になることから、方法や形態等を考慮しつつ、必要に応じ施設整備を検討していく。

## 人事評価

制度の内容について両者の理解は得られたのか  
町長 アンケート調査の結果から概ね理解は得られた



## 住民ファーストの防災施策と地域づくりについて

町長 防災教育も含め組織強化、安心安全なまちづくりに励む



〈地域防災計画〉

問 地域防災計画の新たな更新状況は。

答 多様な主体と連携した被災者への支援方法や情報伝達方法を改定。

問 防災施策を形にする時の基本的な考えは。

答 町民の皆さんの意識をどう変えていくか。そしていかに自分事として捉えてもらえるということが防災にとっての一番重要。さらに震災の教訓をどのように改善していくのが原点。

〈自主防災組織〉

問 自主防災組織の力を高めていく工夫は。

答 引き続き、行政区長会議等も通じながら自主防災組織の強化という部

分は訴え続けていく。

〈人権配慮の避難所〉

問 指定避難所は人権に配慮した環境整備がなされているか。

答 プライバシーの保護や、普段の生活に近づけるような環境整備を今後進めていく。

問 具体的にはどのような配慮を考えているか。

答 健康を守っていくことや生活再建の活力に繋がるような質の向上を図っていく。併せて、短期・長期のニーズに対応するため支援の在り方なども整理し、ネットワークも活用していく。

〈消防団の組織強化〉

問 令和4年に報酬改定され、団員のモチベーションへの効果は。

答 一定の効果はあったと思う。そして今年の操法技術大会での好結果も含め全体のモチベーションは上がっている。

問 機能別団員などを取り入れていく考えはある

か。

答 消防団の自立性を尊重するため今ところは考えていない。

〈防災教育について〉

問 311メモリアルにおいて町民の利用状況は。

答 実際の集計はないが、様々な企画を通して利用は伸びている。

問 自主防災活動支援事業を利用し、学びの機会を作れないか。

答 補助金を使うための工夫も今後考えていく。

問 住民による住民のための防災をサポートすることで地域づくりに繋がると思うが。

答 単に防災だけでなく地域活性化や福祉の視点からも意をもって今後進めていく。



住民みんなで作っていく安心安全な防災まちづくり

## 防災＝福祉

防災減災は地域の力が絶対必要。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



## 子供の「SOS」に早く気付くには

町長 地域コミュニティが一番の助っ人

## 地域力不可欠

子供たちの異変に気付き、地域で心豊かな子育てに協力を望む。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 いじめや体罰、児童虐待など子供に関する様々な事が社会問題化している。当町の実情は。

答 要保護児童対策地域協議会を設置している。管内の認知件数は、令和3年度31件、4年度23件、5年度39件。最近は心理的虐待やネグレクトが増加している。

問 この対策地域協議会を評価した上で、いじめ認知件数が県内1万4、644件と昨年より少ないが、中高生で78件多い。当町の現状把握は。

答 夫婦喧嘩、いわゆる「面前DV」だが虐待の通報が増えていることは確かで、子供の成長に影響があり、小さい芽のうちに対処したい。

問 管内では3歳未満で心理的虐待が13件ある。このことが不登校に繋がる要因になることを危惧するが考えは。

問 虐待を受けて成長すると自分も虐待する傾向があるようだ。これを防ぐ、虐待の無い町にするためどのような施策を考えているのか。

答 早期発見が大事で学校や各種会議・要対協との連携を図っていきたい。

問 学校として予防や啓発は。アルカスの存在は。

答 (教育長) 小中学校では「SOS」教育を実施し、虐待・ヤングケアラ

ー・辛い・悲しい・嫌なことに対し前向きに進む指導をしている。県警の組織に健全育成ボランティア団体「アルカス」があり規範意識の醸成のため、児童生徒で組織され健全育成を目的としている。

問 どこに住んでいてもその様な事態にならない様に地域社会がしっかり支えていく事が大事だ。

問 警察から通報を受けてケースがわかる場合が多い。何とかその前に手立てがないものか。

答 住民が通報をためらってしまうケースもある。隣近所でコミュニティが出来ていれば共有が早く早期発見に繋がる。



団地の敬老会に子供達のダンス披露で盛り上がる



# 防犯カメラ条例、後追い制定

防犯カメラ設置条例や子供医療費助成に関する条例及び町営住宅の一部改正条例、他各条例の審議を行い原案通り可決されました。

## 防犯カメラの設置は適正か

**問** (伊藤俊議員) 設置予定地は。

**答** 今年度末までに全ての小中学校に設置する。

**問** (今野雄紀議員) 2校が設置済みであり条例制定後に設置すべきでは。

**答** 社会上の治安不安の高まりで後追い制定に至った。

**問** (三浦清人議員) 条例で制定せず町内にすでに127台を設置した経緯は。

**答** 個人のプライバシーに制限をかけることとなるため、町として改めて制定することとした。



防犯カメラの設置は適正か

## 木造の町営住宅16戸を廃止

**問** (及川幸子議員) 解体の計画内容は。

**答** 計16戸あるが今年度は7戸予定している。

**問** (伊藤俊議員) 現在入居している人の対応策は。

**答** 復興住宅の状況等を確認しながら進める。

**問** (今野雄紀議員) 復興住宅へ入居した場合の金額等の考えは。

**答** 今後の状況を見て検討する。

## マイナ保険証への移行資格確認書で対応

**問** (伊藤俊議員) マイナ保険証へ変更しない人の扱いは。

**答** 国保については資格確認書が発行される。

**問** (及川幸子議員) 資格確認書対象者の割合は。

**答** 約4割が対象。

## 懲罰特別委員会

及川幸子議員に

# 戒告の懲罰

### 戒告文

議員及川幸子君は、9月5日の会議における一般質問での発言中、不穏当な言動をとり、議会の品位を失墜させた。このことは、議員の職分にかんがみ、まことに残念である。したがって、地方自治法第135条第1項第1号の規定により戒告する。

南三陸町議会

及川幸子議員が一般質問の内容とは無関係の発言をしたこと、議長に制止されたにもかかわらず発言を続けたことが、会議規則に違反するとして、菅原辰雄議員、村岡賢一議員から懲罰動議が提出されました。これを受けて懲罰特別委員会（後藤伸太郎委員長）が設置され、違反があったかどうか審査が行われました。

特別委員会では、戒告の懲罰を科すべきものと決定し、本会議で採決が行われ、賛成多数で可決しました。

及川幸子議員には、公開の議場にて戒告文が読み上げられ、戒告が与えられました。

## 懲罰とは？

不穏当な発言等で秩序を乱した議員に、議会の規律と品位を守るために科す制裁のことです。刑罰とは異なります。懲罰には、戒告、陳謝、出席停止、除名の4種類があります。

### 経緯

9/5 一般質問において不穏当な言動

9/6 懲罰動議が提出

9/9 第1回懲罰特別委員会（委員長選任）

9/10 第2回懲罰特別委員会（事実確認）

9/11 第3回懲罰特別委員会（本人からの聞き取り、内容審査、決定）

9/12 第4回懲罰特別委員会（委員長報告の作成）

本会議にて委員長報告

「懲罰を科すべきものと認める」

「懲罰の種類は戒告」

起立採決の結果

賛成多数により可決

公開の議場における戒告

## 正算 補予 9月定例会議

年度途中、必要に応じて新たに組まれる補正予算。今回追加された主な新規事業に関する質疑を掲載します。

**問** (及川幸子議員) どのようにおこなうのか。

**答** 歌碑や庭石などは旧志津川駅に移設し、現地は最終的には整地する。

**問** 跡地の今後の活用は。

**答** 具体的な活用方法は今のところない。

**問** (伊藤俊議員) 移設先でどう展示するのか。

**答** 歌碑についてなどの説明板を設置する予定。移設の際のセレモニーなどは考えていない。

**問** (後藤伸太郎議員) 撤去のスケジュールは。

**答** 年度内に完了予定。

せせらぎ公園撤去工事  
(土木費) 680万円



旧防災対策庁舎  
照明設備設計業務委託料  
(土木費) 170万円

**問** (伊藤俊議員) 防犯灯的なものなのか。

**答** 周辺を見やすいように照らすもので、特別な日にだけ点灯する。

**問** ライトアップして観光の材料にする施設ではないのか。

**答** そのとおりだと思う。単なる人集めにはしない。

不妊検査費  
不妊治療費助成金  
(衛生費) 180万円



**問** (今野雄紀議員) 十分な助成になっているか。

**答** 検査は3万円、治療は5万円を助成し、さらに町独自で自己負担分を10万円まで助成する。

**問** (三浦清人議員) 年齢上限は。

**答** 43歳未満。緩和できるか情報収集していく。



## 総務産業建設 常任委員会

令和6年6月19日、静岡県東伊豆町及び静岡県水産海洋技術研究所伊豆分場にて聞き取り調査ならびに現地調査を行い、1月から継続調査をしてきた一次産業について結び、報告を行った。

### 結 び

農業、水産業の視察調査で見たものは、著しい環境側面に対し人ができることは限りなく少ないという現状であった。SDGs（持続可能な開発目標）に示されるとおり、一次産業は地域の環境システムの維持といった多面的な役割を持っている。いたずらに危機感を発信するだけでは解決策が見出せるもので

## 持続可能な一次産業へ

### 調査の概要

東伊豆町の行政主導による市民農園事業は、市民要望である農地の有効活用を事業展開し、農園を核としたコミュニティ形成や滞在型観光など波及効果が高く地域へもたらす役割の大きさが伺えた。また、水産海洋

技術研究所では、黒潮の大蛇行による影響は駿河湾でも深刻な状況で、海流が回復した後、早期に藻場の再生ができる状態を確保するため、核藻場の確保に望みを繋げ大型海藻・アントクメの研究を始めていた。

はなく、改めて課題を掘り起こし、現状を把握することで地域の特色が併せ持つ産業の在り方や今後の取り組みの考察に繋がっていかねばならない。さらに資源の再生には失っていく時間以上に取り戻すための時間が必要であり、現状では地方自治体単独での取り組みは難しく、広域連携も含め各関係機関との密な関係性を図り地域産業を守っていく力を醸成したい。その

ためにも、今後もより実証的な取り組みを蓄積しつつ、加工業や観光業などとの一層の連携強化を促進し、収益性の高い一次産業の確立を図り、当町の一次産業が持続可能なものとなる施策の展開を期待し結びとする。



## 民生教育防災 常任委員会

令和6年5月の京都府与謝野町ならびに宮津市での視察を踏まえ、教育行政及び子育て環境についての調査をまとめ、結びとした。

## 町ぐるみで課題解決へ

価値観が多様化する現代社会において、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しているが、今回の調査を通じて感じたことは、新しい事業をスタートさせる余力が行政側に無いことである。事業に優先順位をつけることは大切だが、民間に頼るべきところは頼り、やれることを増やしていかなければならない。優先順位を下げ、後回しにした先で、不幸な事件や事故が起こることは避けなければならない。町ぐるみで課題解決へ向かうこ

とが最も重要である。こども家庭センターが設置される来年度、輝く未来を持った町の子どもたちを様々な立場から支え、育んでいける町になるよう、今後とも働きかけていくこととして結びとする。



## 9月定例会議 議案一覧 32件

(報告3件・人事2件・条例5件・工事2件・財産5件・予算6件・認定9件)

報告	報告第 5号	指定介護予防関連の条例改正にかかる専決処分の報告について
条例	議案第 12号	防犯カメラの設置及び運用に関する条例制定について。町が公共の場所に設置→P16
条例	議案第 13号	町税条例の一部を改正する条例制定について。公益信託に関する法律に対応
条例	議案第 14号	子ども医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例制定について→P16
条例	議案第 15号	町営住宅条例の一部を改正する条例制定について→P16
条例	議案第 16号	包括的支援事業を実施するために必要な基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
工事	議案第 17号	令和6年度漁港施設機能強化事業（石浜地区）防波堤整備工事を株式会社阿部伊組と2億8,160万円で工事請負契約締結。工期は令和7年3月31日まで
工事	議案第 18号	令和5年度漁港施設機能強化事業ばなな漁港（中山地区）沖防波堤整備工事を株式会社阿部伊組と1,850万円増額し、2億1,500万円で変更契約締結。完成期日は令和6年11月29日まで
財産	議案第 19号	平磯線の起点、終点の変更（深田228番11地先～平井田113番地先）
財産	議案第 20号	平磯連絡線の起点、終点の変更（平井田98番80地先～沼田58番10地先）
財産	議案第 21号	石泉樋の口線の起点、終点の変更（樋の口21番1地先～宮方94番2地先）
財産	議案第 22号	馬場船場場線の起点、終点の変更（馬場150番1地先～馬場138番3地先）
財産	議案第 23号	権利の放棄について
人事	同意第 10号	教育委員会委員に阿部麻帆氏を任命することに同意
人事	諮問第 1号	人権擁護委員の候補者に山内恵美子氏を推薦
予算	議案第 24号	令和6年度一般会計補正予算（第2号）→P17
予算	議案第 25号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
予算	議案第 26号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
予算	議案第 27号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
予算	議案第 28号	令和6年度市場事業特別会計補正予算（第1号）
予算	議案第 29号	令和6年度訪問看護ステーション事業会計補正予算（第1号）
報告	報告第 6号	令和5年度決算に基づく健全化判断比率について
報告	報告第 7号	令和5年度決算に基づく資金不足比率について
認定	認定第 1号	令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について→P4
認定	認定第 2号	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について→P6
認定	認定第 3号	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定	認定第 4号	令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について→P6
認定	認定第 5号	令和5年度市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について→P6
認定	認定第 6号	令和5年度水道事業会計決算の認定について
認定	認定第 7号	令和5年度下水道事業会計決算の認定について
認定	認定第 8号	令和5年度病院事業会計決算の認定について→P6
認定	認定第 9号	令和5年度訪問看護ステーション事業会計決算の認定について

## 請 願・陳 情 の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

### 陳 情 書

○ 母 王乖彦(オウカイゲン) が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

以上の陳情については、議員に配布しました。



# わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。  
投稿お待ちしております!! (400字程度)

## 「子供たちの生活とこれからの町」



志津川廻館 鈴木 和志さん

長かったコロナ禍が終わり、夏祭りなどの行事に中高生が参加する姿が多くみられるようになってきました。中学校の入学直後から一カ月以上、登校が制限されるなど、通常と大きくかけ離れた生活を送ってきた子供たちが活躍する機会が増えていることは非常に嬉しく思います。

源ではありますが、地域のこれからを担う子供たちが必要とする、子供たちにとっての当たり前の文化や流行に触れられる施設や場所を作ること、これからの街づくりには組み込んで頂きたいと私は思います。

### 議会から

中高生が町の行事に参加することで社会性が育まれていきます。ご指摘のとおり、多感な時期に人として大きく成長していく過程の中には、子供たちにとって必要な環境があると思います。子育て世代に対する環境は変化し、充実傾向にあるとはいえ、今を生きる子供たちに対して目を向けられているかという事に私たち大人が向き合わなければならぬのだと思います。子供たちの思いに答えられるまちづくりを一緒に考えていきましょう。

今や観光は町の大事な収入



## 映像配信中!

パソコンやスマートフォンから、  
議会開会中はリアルタイムで、  
後日見たい場合は録画  
映像をご覧になれます。



## 皆さん議会を傍聴 してみませんか?

次回の会議 (予定)  
12月3日 (火)  
午前10時から

## 編集後記

毎年、9月議会は昨年度の決算審査が中心になります。今回は期せずして、その決算審査特別委員会を含めた4つの委員会の委員長を一時的に兼任しましたが、決算委員長としては質疑と答弁が噛み合うよう、心を砕きながら進行了たつもりです。その議会の様子を、今度は広報委員長としてまとめました。伝わり切らない部分もあると思いますが、QRコードから動画も視聴できますので活用ください。

我々の任期も残すところあと1年。やり残したことの多いよう、町民のみなさんの福祉向上のため、きつちりとした仕事をしていこうと思います。

後藤 伸太郎

### 議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎

副委員長 須藤 清孝

委員 佐藤 雄一

高橋 尚勝

阿部 司

伊藤 俊